

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		市民スポーツ大会開催事業（スポーツライフ推進事業）						予算事業名		市民スポーツ大会開催事業費			
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
				10	06	01	2004	経常経費					
総合計画体系		4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文							事業の区分		主要事業		
		4-3誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進（スポ									重点事業		
		①スポーツ・レクリエーション活動環境の充実							担当課係等		スポーツ振興課		
2各種大会の開催							スポーツ振興係						
事業期間		継続（平成 5年度～ 年度）											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
イベントの開催等により、市民相互の交流の機会を提供するとともに、心身の健全育成、生涯スポーツの振興・発展を図り、成人週1スポーツの向上を目指す。							生涯スポーツの振興・発展のため開催している。県内でも多くの自治体でマラソン大会等が開催されている。						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
・結城シルクカップロードレース大会は実行委員会方式で運営しているため補助金として交付 ・結城市スポーツレクリエーション祭は、スポーツ推進委員や運動普及推進員等多くのスポーツ団体等の協力を得て開催							・市内外愛好者等 ・スポーツに関心のある市民等（見るスポーツ：観戦，支えるスポーツ：ボランティア）						
							【事業をとりまく環境の変化】 市スポーツ推進計画のなかで、参加者数の増加を目標としており、そのための内容の充実及び運営方法について検討する必要がある。						
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】					
・結城シルクカップロードレース大会への補助 ・結城市スポーツレクリエーション祭の開催				・結城シルクカップロードレース大会への補助 ・結城市スポーツレクリエーション祭の開催				・結城シルクカップロードレース大会への補助 ・結城市スポーツレクリエーション祭の開催					

■事業費

		R01年度	R02年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他の	0	0			
	一般財源	3,946	4,029			
歳入計（千円）		3,946	4,029			
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）			
	07 報償費	94	145			
	10 需用費	179	183			
	13 使用料及び賃借料	73	101			
	18 負担金補助及び交付金	3,600	3,600			
歳出計（千円）（A）		3,946	4,029			
伸び率（％）			2.10			
備考	総合計画 123ページ 予算書 189ページ					

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	シルクカップロードレース大会実行委員会の開催	回	目標	5.00	4.00	4.00
			実績	4.00	0.00	0.00
	スポーツレクリエーション祭実行委員会の開催	回	目標	2.00	2.00	2.00
			実績	2.00	0.00	0.00
成果 指標	シルクカップロードレース大会エントリー者数	人	目標	3,600.00	3,700.00	3,700.00
			実績	3,364.00	0.00	0.00
	スポーツレクリエーション祭参加者数	人	目標	650.00	680.00	700.00
			実績	473.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市民がスポーツに親しむきっかけとなるイベントとして今後も必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	実行委員会の運営であるが、スポーツ全般に関わるイベントであり行政が深く関わることに問題は無い。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	多くのボランティアの協力により運営されているが、さらに枠を広げることで、「支える」スポーツとしてのイベントの意義を高めることができる。
効率性	コストの効率性・人員効率	C 改善の余地はある	シルクカップの補助金については、運営の効率化が図れており、補助金額について検討を進める。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	誰もが参加できるイベントであり、公平性に問題は無い。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	イベントとして定着した一方、見直しを図ることでより良いイベントとする余地はある。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	毎年滞りなく開催できており、内容の改善を図りながら引続き実施していく。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
・スポーツレクリエーション祭は、定着した一方で内容が固定化しており、イベントの価値を高めるための工夫が必要である。 ・シルクカップは、増加の一途であった参加者数が2年連続で減少しているため、参加者の増減を見極め運営方法の見直しや、類似大会と比較した上で独自性を保てるよう検討する。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
スポーツレクリエーション祭を、市のスポーツイベントの中核とすべく大会規模の拡大を図る。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 スポーツイベントの検討にあたっては、市民のスポーツ人口、ニーズ、実施率などを調査し施策に反映させることが重要となる。特に、スポーツ実施率の低い若い世代の女性や障害を持つ方を対象とした検討も行う。スポーツを、する・みる・支えるの観点から、一人でも多くの市民が参画できるような検討も併せて行う。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	